

ヘレニズム時代のエジプトとその周辺の歴史

次の各問について、それぞれ400字以内で回答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

ヘレニズム時代におけるエジプトとその周辺の歴史について、以下の語句を用いて説明しなさい。

アントニウス カルタゴ 属州 ディアドコイ ムセイオン

解答例

マケドニアのアレクサンドロスの東方遠征で、エジプトは征服され、アケメネス朝は滅亡してヘレニズム世界が成立した。アレクサンドロスの死後、部将が後継者ディアドコイを称して抗争し、その帝国は分裂してエジプトにはプトレマイオス朝、シリアはセレウコス朝、マケドニアはアンティゴノス朝が成立した。プトレマイオス朝の都アレクサンドリアには王立研究所のムセイオンが設立され、ヘレニズムの自然科学研究の中心となった。一方、西地中海地域ではチュニジアのカルタゴとイタリアのローマが台頭し、前3世紀に始まるポエニ戦争で、ローマが勝利した。前2世紀からローマは東地中海にも進出し、アンティゴノス朝を征服してギリシアも属州とし、前63年にはセレウコス朝も征服して版図とした。エジプトの女王クレオパトラは、ローマのアントニウスと結んだが、オクタウィアヌスとのアクティウムの海戦で敗れ、前30年にプトレマイオス朝は滅亡した。

## 科挙官僚の登用

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

中国王朝において、科挙官僚（科挙出身の官僚）が統治の担い手として段階的に貴族に取って代わった経緯について、以下の語句を用いて説明しなさい。

九品中正 五代十国 新興地主層 則天武后 文治主義

## 解答例

魏晋南北朝時代に行われた九品中正は、中正官の推薦による官僚登用制度であったが、家柄が評価の基準となることで門閥貴族層が形成され、統治の担い手となった。隋では貴族勢力抑制のため、九品中正に代わり、自由身分の男性に受験資格を開放し、儒学の素養を試験で問う科挙が導入され、唐にも継承された。貴族は官位の世襲が可能で、詔勅の審議を行う門下省や人事を司る吏部を拠点に勢力を維持したが、則天武后が科挙官僚を重用したことで、新興地主層を主な出身母体とする科挙官僚が台頭しはじめた。安史の乱以降、新興地主層の子弟は各地に割拠する藩鎮の地方政権の下で統治の担い手となった。唐末から五代十国の戦乱で門閥貴族層が壊滅し、宋が文治主義を採り、皇帝による最終試験の殿試を導入すると、皇帝との結びつきを強め、皇帝専制を支える科挙官僚が統治の担い手の地位を確立し、科挙受験を通じて官僚となる士大夫が、新たな支配層となった。

問題 中世 東アジア・西アジア・中央アジア

トルコ人の移動とイスラーム化

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

9世紀から11世紀までのトルコ系諸集団の中央アジアと西アジアへの流入とイスラーム化について、以下の語句を用いて説明しなさい。

ウイグル カラ=ハン朝 トルキスタン ホラズム朝 マニ教

解答例

9世紀半ばにウイグル帝国が崩壊すると、その支配下にあったトルコ系集団の西方への移動が始まった。その一部は中央アジア西部のイラン系サーマーン朝により、イスラームに改宗した軍人奴隸マムルークとしてアッバース朝に供給され、各地で自立して軍事地方政権を樹立した。10世紀には仏教やマニ教が有力であった中央アジア東部で最初のトルコ系イスラーム王朝であるカラ=ハン朝が成立してこの地のイスラーム化を進め、さらにサーマーン朝を滅ぼして中央アジア全域のトルコ化を進めたため、中央アジアはトルキスタンと称されるようになった。11世紀半ばに中央アジアから西アジアに進出したセルジューク朝は、アッバース朝カリフからスルタンの称号を得て政治の実権を掌握し、ビザンツ帝国を圧迫して小アジアにも進出し、小アジアのトルコ化とイスラーム化を開始した。一方中央アジア西部では、セルジューク朝からトルコ系のホラズム朝が自立した。

江南の経済発展と中国王朝の興亡

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

4世紀から13世紀における江南（長江下流域）の経済発展と中国王朝の興亡との関連について、以下の語句を用いて説明しなさい。

朱全忠 隋 占城稲 大都 東晋

解答例

4世紀前半、匈奴によって西晋が滅ぼされると、司馬睿が江南の建業を都として東晋を建てた。華北の五胡十六国の動乱で江南に移住民が流入し、豪族・貴族による荘園の開発が進んだ。東晋のあと、宋・齊・梁・陳の南朝が興亡し、北朝の隋が陳を滅ぼして中国を統一した。隋は大運河を建設して江南と華北を結び、唐では海の道の発展で揚州にもムスリム商人が来訪した。朱全忠によって唐が滅ぼされると、五代十国の地方政権の下で江南の開発が進展した。宋代には早稲の占城稲が導入され、畝田の干拓も進み、「蘇湖熟すれば天下足る」と称される穀倉地帯となった。商工業も発展し、沿岸都市では民間貿易も盛んとなった。華北を金に奪われ、杭州を臨安として都とした南宋では、避難民の流入で人口が増大し、江南は更に発展した。南宋を滅ぼした元は、都の大都と杭州を結ぶ運河と海運を整備したため、江南は、ユーラシアを結ぶ海陸の交通路と接続して繁栄した。

メソポタミアにおける都市文明

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

メソポタミアにおける都市文明誕生の経緯と、その後、前18世紀までの都市王朝の盛衰を、以下の語句を用いて説明しなさい。

ジググラト 粘土板 農耕・牧畜 ハンムラビ メソポタミア南部

解答例

新石器時代に「肥沃な三日月地帯」に含まれるティグリス・ユーフラテス両川の流域のメソポタミアでは、他地域に先駆けて農耕・牧畜が始まり、天水の乏しいメソポタミア南部で灌漑農業が発達した。人口が増加し、階級の分化とともに都市が成立し、シュメール人がウル・ウルク・ラガシュなどの都市国家を建設し、神殿と階段状の基壇であるジググラトを中心に、政治・軍事の権限を持った王が神官として君臨する神権政治が行われた。貢納などを記録するため、粘土板に記される楔形文字が作られ、60進法や1週7日制も始まった。交易に基盤を置く都市国家間の交流や抗争が活発化し、前24世紀にセム系アッカド人のサルゴン1世がメソポタミアに最初の統一をもたらした。その後、シュメール人のウル第3王朝のもとで法典の編纂が始まり、セム系アムル人のバビロン第1王朝が、前18世紀にハンムラビ王のもとでメソポタミアを統一すると、ハンムラビ法典が編纂された。

中国の土地制度史

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

紀元前11世紀の周から10世紀の唐末五代十国までの中国の土地制度史について、国家による政策および土地を所有する社会階層の変遷に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

均田制 豪族 荘園 佃戸 封建制

解答例

周では封建制のもと、支配層を形成する宗族の間で邑の授受が行われた。戦国時代には新開地を県として君主が直轄支配する郡県制に移行し、国家は土地を農民に与えて租役を課した。漢代には私有地である荘園を所有する豪族が台頭し、自営農民の土地を兼併したため、前漢末の限田策など土地制限が試みられたが失敗した。魏晋南北朝期には豪族の上層は世襲貴族となり、江南地域では奴婢を使役する自給的な荘園を経営するようになった。一方で国家も土地の確保に努め、魏の屯田制や西晋の占田課田法を経て、北魏では農民に土地を還授する均田制が始まり、隋唐帝国に継承された。8世紀頃から新興地主層の形勢戸が台頭すると、国家の土地公有は困難となり、安史の乱を経て780年の両税法で土地の私有が公認された。形勢戸は小作人佃戸に土地を貸与し地代を徴する方式で貴族の荘園も浸食して勢力を拡大し、唐末五代の混乱で貴族が没落すると新たな支配層となった。

問題 古代 西アジア

アレクサンドロス後～イスラームの西アジア

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

I アレクサンドロス大王の帝国の分裂後からイスラーム勢力の台頭までの西アジアの歴史と文化について、以下の語句を用いて説明しなさい。

アラム文字    クテシフォン    セレウコス朝    ゾロアスター教  
ローマ

解答例

帝国の分裂後にセレウコス朝が成立したが、前3世紀にイランでパルティアが自立し、メソポタミアに進出してクテシフォンを都とした。当初パルティアではギリシア文化の影響が強かったが、セレウコス朝がローマに滅ぼされ、シリアを支配したローマと抗争するなかで、伝統文化が復興した。3世紀にパルティアを滅ぼしたササン朝は、アラム文字表記のペルシア語を公用語とし、ゾロアスター教を国教として経典『アヴェスター』もまとめられた。ゾロアスター教とキリスト教・仏教を融合したマニ教が成立し、国内では弾圧されたが、発達した美術工芸とともに東西に伝播した。一方、ローマ、東ローマの領域となったシリアでは、キリスト教が普及した。7世紀初頭からササン朝と東ローマ帝国の対立が激化し、両国が疲弊するなか、アラビア半島ではイスラーム勢力が台頭し、ササン朝をニハーヴァンドの戦いで破って滅亡に追い込み、東ローマ帝国からはシリアを奪った。

## ビザンツ帝国と東欧世界

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

395年のローマ帝国の東西分裂の後、4世紀末から8世紀前半までの時期を経て、ビザンツ（東ローマ）帝国は、小アジアとバルカン半島を主たる領土とした独自の世界を形成するに至る。その歴史的過程について、以下の語句を用いて説明しなさい。

イスラーム      ギリシア正教会      ササン朝ペルシア      スラヴ人      ユスティニアヌス

## 解答例

西ローマ帝国はゲルマンの侵入と建国により5世紀後半に滅亡したが、東ローマ帝国はコンスタンティノーブルを中心に繁栄を維持し、ローマ教会も宗主権下に置いた。6世紀のユスティニアヌス帝は東ゴート王国やヴァンダル王国を滅ぼしてほぼ地中海世界の再統一を果たし、皇帝理念とキリスト教の結びつきを強調した。しかし7世紀前半のササン朝ペルシアとの抗争を背景にイスラームが台頭すると、シリア・エジプトなどを奪われた。さらにスラヴ人などの侵入も続き、これに対応するなかでテマ制と屯田兵制が普及した。一方で帝国の公用語がギリシア語になるなどギリシア化が進行した。8世紀前半、レオン3世が発布した聖像禁止令はローマ教会とコンスタンティノーブル教会の対立を促し、ローマ教会がフランクに接近して西欧世界が分離していく一方、コンスタンティノーブル教会はローマ教会と競合しつつスラヴ人を教化してギリシア正教会世界を形成していった。



## オランダの東南アジア進出

次の各問について、それぞれ400字以内で回答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

17世紀から第二次世界大戦勃発前までのオランダの東南アジア進出について、他のヨーロッパ諸国や現地勢力との関係に言及しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

インドネシア国民党    オランダ東インド会社    強制栽培制度  
ポルトガル    マレー半島

## 解答例

17世紀前半、オランダ東インド会社は、ジャワ島のバタヴィアを拠点に香辛料交易に進出した。同時期に進出したイギリスをアンボイナ事件でインドに撤退させ、先行したポルトガルの商圏を奪ってマレー半島のマラッカを占領し、香辛料貿易を独占した。17世紀末に香辛料価格が暴落すると、コーヒー栽培など植民地経営に転換し、18世紀中ごろにはマタラム王国を征服してジャワ島を支配下に置いた。ナポレオン戦争中はイギリスに占領されたが、19世紀前半には現地勢力によるジャワ戦争を鎮圧して強制栽培制度を実施した。スマトラ島にも進出し、北端のアチェ王国の抵抗を20世紀初頭までに鎮圧してオランダ領東インドを成立させた。これに対し、ジャワ島のムスリム商人が結成したサレカット=イスラームは、パン=イスラーム主義の影響を受けて自治要求運動を開始し、第一次世界大戦後にはスカルノが結成したインドネシア国民党が、独立を要求するようになった。

エジプトにおける諸国家の興亡

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

7世紀から16世紀前半までのエジプトにおける諸国家の興亡について、隣接する勢力との関係に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

アナトリア サラディン シーア派 ビザンツ帝国 モンゴル軍

解答例

7世紀前半のエジプトはビザンツ帝国の支配下にあったが、アラビア半島で台頭したイスラーム勢力は、正統カリフのウマルの時代にエジプトを征服した。エジプトは、ウマイヤ朝、アッバース朝の支配下に置かれたが、10世紀にチュニジアで成立したシーア派のファーティマ朝がエジプトを征服し、都のカイロを建設した。ファーティマ朝が第1回十字軍とイエルサレム王国の侵攻で弱体化すると、ファーティマ朝支援のためシリアのザンギー朝から派遣されたサラディンが、代わってスンナ派のアイユーブ朝を建国した。アイユーブ朝はイエルサレムを奪回し、第3回十字軍を撃退したが、13世紀半ばに第6回十字軍の最中にマムルーク軍団のクーデタでマムルーク朝が成立した。マムルーク朝は、イル=ハン国を撃退したバイバルスの下でアッバース朝のカリフを擁立し、繁栄した。しかしアナトリアで成立したオスマン帝国のセリム1世により、1517年に征服された。

問題 中世・近世 東アジア・中央アジア

モンゴル帝国後のモンゴル諸勢力

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

14世紀から17世紀までのモンゴル系諸勢力の歴史について、以下の語句を用いて説明しなさい。

永楽帝 紅巾の乱 ジュンガル 土木の変 ホンタイジ

解答例

14世紀に中国を支配していた元は、紅巾の乱出身の朱元璋が建国した明に敗れ、モンゴル高原に撤退して北元となった。さらに明の永楽帝の親征を受け、西北のオイラトと、北元を継承するタタールに分かれた。15世紀半ばオイラトはエセンの下で台頭し、朝貢貿易を縮小した明を脅かし、土木の変で明の正統帝を捕虜とした。16世紀にはタタールがアルタン=ハンの下で復興して北京を包囲するなど明に圧力を加え、貿易の拡大を認めさせる和約を結んだ。その後アルタン=ハンはチベットに遠征してダライ=ラマの保護者となり、チベット仏教がモンゴルに普及した。17世紀にタタールは、内モンゴルのチャハルと外モンゴルのハルハに分かれ、オイラト系統ではイリ地方のジュンガルが台頭した。チャハルは後金に服属してホンタイジを大ハンと認め、ホンタイジは国号を清と改称した。ジュンガルの干渉を受けたハルハも清に服属し、ジュンガルは清の康熙帝の遠征を受けた。

問題 中世 西アジア

イスラームにおけるカリフ制度の変遷

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

7世紀から10世紀後半までのイスラーム世界におけるカリフ制度の変遷について、以下の語句を用いて説明しなさい。

アブー=バクル    イベリア半島    エジプト    大アミール  
ムアーウィヤ

解答例

ムハンマドの死後、教団国家ウンマを指導するムハンマドの後継者としてアブー=バクルが選出され、初代のカリフとなった。ムスリムの合意で選出された4代のアリーまでを正統カリフと称するが、アリー暗殺後にムアーウィヤは、カリフ位の世襲を主張し、ウマイヤ朝を開いた。この過程で、歴代のカリフを認めるスンナ派と、アリーとその子孫のみを指導者イマームとして認めるシーア派が生じた。ウマイヤ朝にかわってアッバース朝が成立し、イスラーム法シャリーアを整備した。しかし、10世紀半ばにバグダードを占領下ブワイフ朝の君主は、アッバース朝の政治的実権を奪って大アミールと称し、カリフは宗教的権威となった。一方で急進シーア派のファーティマ朝はアッバース朝カリフの権威を認めずカリフを称し、10世紀後半にはエジプトに進出した。イベリア半島の後ウマイヤ朝もファーティマ朝に対抗してカリフを称したため、3人のカリフが分立した。

朝鮮半島における諸国家の興亡

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

6世紀から14世紀までの朝鮮半島における諸国家の興亡について、隣接する勢力との関係に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

元 高麗 新羅 白村江 李成桂

解答例

6世紀に半島南部の加羅諸国が新羅に併合され、北部の高句麗、西南部の百済、東南部の新羅の三国が分立抗争した。隋の煬帝や唐の太宗の侵攻を撃退した高句麗が百済と結び新羅を圧迫すると、新羅は唐と結んで対抗した。唐と新羅の連合軍は百済を滅ぼし、百済復興を図った日本を白村江の戦いで撃退し、高句麗も滅ぼした。続いて新羅は唐を退けて半島を統一し、高句麗の遺民が東北地方に渤海を建国すると、唐との関係を修復し、唐の冊封を受けた。10世紀初頭に唐が滅亡し、新羅も衰えて半島が分裂状態になると、王建が高麗を建国して統一を果たした。高麗は五代・宋の冊封を受けたが、契丹の梁や女真の金、モンゴルなどの北方勢力に服し、元による日本遠征の拠点となった。14世紀後半、江南地方を基盤に明が台頭し、元が北方に追われると、高麗では親元派と親明派が対立し、倭寇の撃退で名声を得た親明派の李成桂が高麗に代わって朝鮮王朝を建国した。

### 十字軍期のイタリアとイベリア半島

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

11世紀後半から13世紀末までの約200年間、7回にわたる十字軍が行われた。この時代におけるイタリアとイベリア半島の歴史的状況について、以下の語句を用いて説明しなさい。

アラゴン 教皇党 シチリア 神聖ローマ帝国 ビザンツ

### 解答例

イベリア半島では、11世紀からレコンキスタが本格化し、カスティリヤ王国、ポルトガル王国、アラゴン王国のキリスト教国が成立して北アフリカから進出したムラービト朝、ムワッヒド朝を撤退に追いやり、13世紀末には南東部のナスル朝を除いて領土を回復した。イタリア北部では、東方貿易で発展した都市共和国が分立し、中部には教皇領が、ビザンツが支配した南部とイスラーム支配下のシチリア島にはノルマンディー公国出身の傭兵の征服で12世紀前半に両シチリア王国が成立した。神聖ローマ帝国のシュタウフェン朝はイタリア政策でイタリア支配をめざし、両シチリア王国も継承したが、ロンバルディア同盟や教皇と結ぶフランスのアンジュー家との抗争で断絶した。両シチリア王国はアンジュー家が継承したが、シチリアは13世紀末の反乱を機にアラゴン王国に帰属した。イタリア政策を支持した皇帝党と、反対した教皇党の対立は以後も続き、政治的混乱は深まった。

明清の海上貿易管理体制

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

II 14世紀なかばから18世紀末にかけての明・清の海上貿易管理体制について、それに対する国家・集団の動向に注目しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

海禁政策 後期倭寇 公行 台湾 琉球王国

解答例

元末以来の前期倭寇への対処として明は海禁政策をとり、民間貿易を禁止する一方、朝貢体制の再興を図り、鄭和を南海遠征に派遣し、足利義満を日本国王に冊封して勘合貿易を認めた。マラッカ王国と琉球王国は、朝貢貿易体制の核となって繁栄したが、明が朝貢縮小策に転じると、海禁に対する不満が高まり、16世紀には日本銀と中国生糸を密貿易する後期倭寇が盛んとなり、ポルトガルもマカオを拠点として参入した。明は16世紀後半に海禁を緩和し、オランダも台湾を拠点に交易に参入した、17世紀半ばに明に代わった清は、台湾の鄭氏一族の復明運動に対抗し、遷界令により海禁を強化した。台湾平定後に海禁は緩和され、海関を通じた互市貿易も認められたが、18世紀半ばに欧米とは広州一港に貿易港が限定され、特権商人の公行が貿易を独占した。イギリスは自由貿易を要求して18世紀末にマカートニーを派遣したが、清は伝統体制維持を理由に要求を拒否した。

6C半ば～13C初 タリム盆地の動向

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

6世紀なかばから13世紀初めにかけてのタリム盆地周縁部のオアシス都市をめぐる諸勢力の動向について、以下の語句を用いて説明しなさい。

カラハン朝 契丹 チンギス＝ハン 唐 突厥

解答例

6世紀にトルコ系遊牧民の突厥が柔然を倒してタリム盆地のオアシス都市を支配下に置き、オアシス都市のイラン系商業民であるソグド人と提携した。しかし、突厥が分裂・弱体化すると7世紀に唐の高宗が西突厥を討ってオアシス都市に支配を広げた。その後、オアシス都市は唐が設置した安西都護府に間接統治されたが、安史の乱で唐が弱体化すると、かわってチベット系吐蕃がこの地域に進出した。9世紀にモンゴル高原でウイグルが崩壊したことを契機にトルコ系遊牧民がタリム盆地に流入し、10世紀にトルコ系のカラハン朝が成立してこの地域のトルコ化・イスラーム化を進めた。12世紀には遼の滅亡によって西走した契丹の耶律大石がカラハン朝を滅ぼして西遼を建国したが、13世紀初期にモンゴル高原からチンギス＝ハンに追われたナイマンに国を奪われた。しかしナイマンはチンギス＝ハンによって間もなく滅び、モンゴル帝国がオアシス都市を支配下に置いた。



1910～1930年代の中国共産党

次の各問について、それぞれ400字以内で回答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

中国共産党に関係する1910年代から1930年代にかけての歴史について、以下の語句を用いて説明しなさい。

延安 上海クーデタ 帝国主義的特権の放棄 八・一宣言 李大釗

解答例

ソヴィエト政権が帝国主義的特権の放棄を宣言すると、マルクス主義を中国に紹介した李大釗や、新文化運動と五・四運動を指導した陳独秀を中心に、コミンテルンの支部として中国共産党が結成された。コミンテルンは孫文が結成した国民党との提携を重視し、中国共産党は国民党と第一回国共合作を行った。国民党は広州国民政府を樹立し、軍閥勢力に対して北伐を開始したが、その途上で蒋介石は共産党を弾圧する上海クーデタを断行し、南京国民政府を樹立して中国を統一した。中国共産党は毛沢東の指導で瑞金を拠点に抵抗し、国共内戦となった。この状況下で、日本の関東軍は満洲事変を起こして満洲国を建国した。国民党の攻勢で瑞金を放棄し、延安に移動する長征を行った中国共産党は、八・一宣言を発して内戦停止と一致抗日を訴えた。共鳴した奉天派の張学良による西安事件で内戦は停止し、その後、盧溝橋事件で日中戦争が勃発すると、第二次国共合作が成立した。

ルネサンス期技術の影響

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

ルネサンス期に発達した技術が16世紀初頭のヨーロッパに与えた影響について、以下の語句を用いて説明しなさい。

グーテンベルク サン=ピエトロ大聖堂 宗教改革 人文主義 ドイツ語訳

解答例

15世紀半ばにグーテンベルクらにより開発された金属活字による活版印刷術と、高価な羊皮紙に代わる、植物などを原料とする製紙法の普及は、大量の印刷物の発行を可能とした。カトリック教会の腐敗を風刺したエラスムスら人文主義者の言説も、印刷物によって広まっていた。16世紀初頭にサン=ピエトロ大聖堂の修築比を工面するため贖宥状がドイツで販売されると、ルターは九十五カ条の論題で贖宥状の販売を批判した。九十五カ条の論題は印刷されてドイツ各地で反響を呼び、宗教改革が始まった。ルターは、信仰の基盤を聖書に求めたが、当時の聖書はラテン語で記された高価なもので、多くのキリスト教徒は聖書に触れることができなかった。そのためルターは、聖書をドイツ語訳し、印刷物として普及させようとした。新教派の主張や、カトリック教会を批判した諷刺画も、大量の印刷物によって広まるなど、印刷技術は宗教改革の展開に大きな影響を与えた。

## ポーランドの歴史

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

14世紀末から20世紀初頭までのポーランドの歴史について、以下の語句を用いて説明しなさい。

サン=ジェルマン条約    ドイツ騎士団    ナポレオン    ポーランド分割    ヤゲウォ朝の断絶

## 解答例

バルト海に進出したドイツ騎士団に対抗し、ポーランドはリトアニアと連合してヤゲウォ朝を成立させた。ポーランドは15世紀にはドイツ騎士団を服属させ、全盛を迎えたが、16世紀後半のヤゲウォ朝の断絶後は選挙王制のもとで貴族勢力の分立が進んだ。集権化に遅れたポーランドは、18世紀後半からプロイセン・オーストリア・ロシアによる3度のポーランド分割を受けて消滅した。プロイセンとの戦いに勝利したナポレオンより成立したワルシャワ大公国は、ウィーン会議で否定され、ロシア皇帝が国王を兼ねるポーランド立憲王国が成立した。しかし、フランス七月革命を機に起こったロシアからの独立を図る民族運動が鎮圧されると、立憲王国はロシアの直轄領となった。その後の民族運動も鎮圧されたが、第一次世界大戦末期のロシア革命と、ドイツ・オーストリアの敗戦を機にポーランドは独立を宣言し、パリ講和会議のサンジェルマン条約で、国際的に独立が承認された。

ロシアと清朝の国際関係

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

19世紀半ばから20世紀初頭までのロシアと清朝の国際関係について、それぞれの国内の情勢に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

義和団事件 太平天国の乱 東清鉄道 北京条約  
ムラヴィヨフ

解答例

クリミア戦争に敗北したロシアは、東シベリア総督のムラヴィヨフがアロー戦争に乗じて極東進出を推進し、太平天国の乱で疲弊した清とアイグン条約を結んで黒竜江以北を獲得し、続いて北京条約で沿海州も獲得した。新疆でムスリム反乱が起こると、イリ地方も占領した。洋務運動で安定を回復した清は反乱を鎮圧し、ロシア軍を撤兵させたが、ロシアはイリ条約で国境を有利に画定した。日清戦争で清が敗北し、下関条約で遼東半島が日本に割譲されると、ロシアは三国干渉を主導して日本に遼東半島を返還させ、清から東清鉄道の敷設権を獲得した。さらに列強の中国分割の一環として、遼東半島南部を租借して旅順・大連を建設し、列強への反発から義和団事件が勃発すると、東清鉄道防衛を口実に東北地方を占領した。しかし日本との日露戦争は第1次ロシア革命を誘発し、ロシアはポーツマス条約を結んで東清鉄道支線の長春以南と、旅順・大連の租借権を日本に割譲した。

大西洋黒人奴隷貿易

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

17世紀から19世紀初頭にかけて大西洋で行われた黒人奴隷貿易について、以下の語句を用いて説明しなさい。

ヴァージニア植民地 産業革命 西インド諸島 プランテーション 綿繰り機

解答例

酷使と疫病で先住民人口が減少したラテンアメリカで黒人奴隷の使用が広がった。ヴァージニア植民地でも、17世紀初期に黒人奴隷制が導入され、タバコプランテーションの労働力とされた。イギリスやフランスも17世紀後半に西インド諸島で黒人奴隷による砂糖プランテーションを開発した。ヨーロッパ諸国はアフリカ西岸に火砲や綿布を輸出し、黒人奴隷をアメリカへ、砂糖などの商品をヨーロッパへ運ぶ大西洋三角貿易を行った。アフリカは、ベニンなど奴隷狩りに依存する王国が台頭する一方、人口流出で発展が停滞した。イギリスで輸出用綿布の国産化のため、黒人奴隷貿易の利益を綿工業に投資したことは、産業革命の要因となった。18世紀末にアメリカ合衆国で綿繰り機が発明されると、アメリカ合衆国南部でイギリス綿工業向けの綿花栽培が普及し、奴隷制が拡大した。一方イギリスでは福音主義の立場から奴隷制廃止運動が起こり、19世紀初頭に奴隷貿易が廃止された。

キリスト教の中国布教と中国での受容

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

キリスト教の中国への布教と中国での受容に関する諸問題について、因果関係に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

アロー戦争 義和団 対抗宗教改革 典礼問題 マテオ=リッチ

解答例

唐代にはネストリウス派が景教として伝播したが、会昌の廃仏で弾圧され、元代にはカトリック教会がモンテ=コルヴィノを大都の大司教として派遣したが、やがて勢力を失った。明末には対抗宗教改革の一環で、イエズス会のマテオ=リッチが西洋学術を士大夫層に紹介しカトリックを布教した。しかし、イエズス会による中国人教徒の孔子崇拝や先祖崇拝の典礼容認を、他の修道会が批判する典礼問題が起こり、康熙帝はイエズス会以外の布教を禁止し、雍正帝はキリスト教布教を禁じた。アヘン戦争による開国以後、開港地を中心に欧米宣教師の布教が始まり、洪秀全の上帝会に影響を与える一方、宣教師殺害事件がアロー戦争の一因となった。アロー戦争後の北京条約でキリスト教布教が公認されたが、列強の進出と一体となった布教への反発から、反キリスト教の仇教運動が起こり、これを背景にキリスト教排斥の除教安民と、扶清滅洋を掲げる義和団の排外運動も起こった。

中世における教皇権の拡大と衰退

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

Ⅲ 中世ヨーロッパにおける教皇権の拡大と衰退について、以下の語句を用いて説明しなさい。

アナーニ事件    インノケンティウス3世    教会大分裂  
コンスタンツ公会議    叙任権闘争

解答例

帝国教会政策をとり、叙任権を行使する皇帝権に対し、11世紀後半にグレゴリウス7世は叙任権闘争を開始した。カノッサ事件を経てウルバヌス2世が十字軍を提唱すると、叙任権闘争は教皇権優位に展開し、1122年にはヴォルムス協約で妥結した。インノケンティウス3世は破門権を活用して各国の君主を屈服させ、西欧における教皇首位権を確立し、教皇権は全盛を迎えたが、十字軍運動の相次ぐ失敗でその権威は低下した。14世紀初頭、ボニファティウス8世がフランス王の部下に監禁されるアナーニ事件を経て、教皇庁がアヴィニョンに移りフランス王権の監視を受ける教皇のバビロン捕囚で教皇権は動揺し、その後ローマとアヴィニョンに教皇庁が分裂する教会大分裂により、教皇権を否定するウィクリフとフスが登場した。コンスタンツ公会議で教皇庁は統合されたが、フスを異端として処刑したことは、ベーメンのフス派によるフス戦争を引き起こした。

ドイツのナショナリズム運動

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと

。フランス革命以降のヨーロッパ社会では、いわゆるナショナリズム運動が吹き荒れた。この運動のドイツ連邦における展開について、以下の語句を用いて説明しなさい。

小ドイツ主義    ビスマルク    フランクフルト国民議会    ブルシェンシャフト    メッテルニヒ

解答例

ウィーン会議で発足したドイツ連邦は、オーストリアを盟主に35の君主国と4の自由市から構成された。ウィーン体制の発足まもなく、学生らのブルシェンシャフトがドイツ統一と憲法制定を求めたが、オーストリアのメッテルニヒに弾圧された。1848年のフランス二月革命の影響下、ドイツ三月革命が起こるとメッテルニヒが失脚して、ウィーン体制も崩壊した。そこでフランクフルト国民議会が開かれ、ドイツの統一と憲法の制定を議論し、オーストリアのドイツ系住民を含む統一を主張する大ドイツ主義に、プロイセンを中心にそれらを含まない統一を主張する小ドイツ主義が勝利したが、プロイセン王の拒否で挫折した。その後、プロイセン首相ビスマルクは、鉄血政策による上からの統一を進めた。シュレスヴィヒ・ホルシュタイン問題から普墺戦争が勃発すると、プロイセンが勝利してドイツ連邦を解体し、プロイセン中心の北ドイツ連邦を成立させて、ドイツ統一を進めた。



## 1920年代のアメリカ社会

次の各問について、それぞれ400字以内で回答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

1920年代のアメリカ社会の特徴について、以下の語句を用いて説明しなさい。

移民法      クー=クラックス=クラン      孤立主義      債権国  
フォード

### 解答例

アメリカ合衆国は、共和党政権の下で孤立主義に回帰する一方、第一次世界大戦で債権国となって、西欧への投資を合衆国に環流させた。株価は上昇し、自由放任政策もあって、空前の好景気となった。フォード社の組み立てライン方式の普及で大量生産が実現し、クレジット販売で自動車や家電製品を中間層も購入して大量消費社会が出現した。ラジオや映画などマスメディアで、ジャズや大リーグが実況され、大衆文化が発展した。一方で、WASPと称される旧移民系を中核とする白人中間層は、繁栄を享受して保守化し、人種主義団体のクー=クラックス=クランが黒人やユダヤ人を迫害した。清教主義の下、禁酒法が成立し、カトリックの東欧・南欧系新移民への差別も強まった。新移民や日系移民を排斥する移民法も1924年に制定された。ロシア革命波及の恐れから社会主義が敵視され、南欧系の社会主義者が冤罪で処刑されたサッコ=ヴァンゼッティ事件も起こった。

中国とアメリカ合衆国

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

19世紀半ばから20世紀半ばまでの中国とアメリカ合衆国にかかわる諸問題について、以下の語句を用いて説明しなさい。

カイロ会談    ジョン=ヘイ    朝鮮戦争    望厦条約    ワシントン会議

解答例

19世紀半ば、アメリカ合衆国は望厦条約を清と締結し、領事裁判権などを認めさせた。中国から金鉱や鉄道建設の労働力としてアメリカに移民が到来したが、白人労働者の排斥運動によって規制された。19世紀末に国務長官のジョン=ヘイは、列強の中国分割に対し門戸開放宣言を発し、中国市場への進出を図った。第一次世界大戦後にはワシントン会議を主催し、九カ国条約で日本の進出を抑制した。第1次国共合作が崩壊すると、国民政府を支持して幣制改革を支援し、日中戦争では日米交渉で日本の中国からの撤退を要求した。太平洋戦争が勃発すると米中両国は連合国として提携し、蔣介石はカイロ会談に参加した。第二次世界大戦後、国共内戦で共産党が勝利し、中華人民共和国の建国を宣言すると、アメリカ合衆国は台湾に移転した国民党政府を支持した。冷戦構造の中で朝鮮戦争が勃発すると、アメリカ合衆国を中心とする国連軍と、中華人民共和国の義勇軍が戦った。

問題 近世・近代 欧州・南アジア

イギリス東インド会社のインド経営

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

イギリス東インド会社のインドにおける活動の歴史的展開について、イギリス本国との関係に留意しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

ザミンダーリー制 産業革命 シク教 シパーヒーの反乱  
プラッシーの戦い

解答例

本国から貿易特権を得た東インド会社は、17世紀にボンベイ・マドラス・カルカッタに拠点を設け、インド産綿布の交易を独占した。18世紀にはフランスと現地勢力を巻き込み抗争し、1757年のプラッシーの戦いで勝利して優位に立つ一方でベンガル地方の徴税権を獲得すると、地稅獲得に力点を移し、マイソール王国、マラーター同盟、シク教国を次々に征服した。本国で、産業革命の進展を背景に自由貿易の要求が高まると、東インド会社は商業特権を停止され、インド統治機関の性格を強めたが、イギリス製機械綿布の導入でインドの綿産業は壊滅し、ザミンダーリー制やライヤットワリー制など、東インド会社が導入した納税者に地権を与える土地税制は、広範な社会層の没落を促した。その不満を背景に、1857年に東インド会社の傭兵の蜂起からシパーヒーの反乱が起こると、イギリス本国は翌年、東インド会社を廃止して直接統治に転換した。

## シオニズム

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

19世紀末から20世紀半ばまでのシオニズムの展開について、当時の政治情勢と関連づけながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

イスラエル    ドレフュス事件    バルフォア宣言    パレスチナ  
ホロコースト

## 解答例

19世紀末、フランスのドレフュス事件での反ユダヤ主義の高揚に対し、ユダヤ人国家の建設を目指すシオニズム運動がヘルツルにより提唱された。第一次世界大戦中、イギリスはバルフォア宣言でパレスチナにおけるユダヤ人の民族郷土建設を支持する一方、マクマホン協定でアラブ人の独立も約束した。第一次世界大戦後にイギリスの委任統治領となったパレスチナでユダヤ人の入植が進むと、現地のアラブ人との対立が引き起こされた。ドイツでナチ政権が成立し、ユダヤ人の迫害が激化すると、ユダヤ人の流入は増加し、対立は激化した。第二次世界大戦中のドイツによるホロコーストのユダヤ人大量虐殺が明らかになると、ユダヤ人への国際的同情が高まり、戦後成立した国際連合は、パレスチナ分割案を可決した。これを受けてイスラエルの建国が宣言されると、分割案を拒否した周辺のアラブ諸国は第一次中東戦争を開始したが、イスラエルが勝利して領土を拡大した。

第二次世界大戦後の台湾

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

第二次世界大戦後の台湾をめぐる国際情勢と台湾の政治経済について、以下の語句を用いて説明しなさい。

新興工業経済地域 (NIES)      ニクソンの中国訪問      日中国交正常化  
李登輝      「冷戦」

解答例

第二次世界大戦後に国共内戦が勃発し勝利した共産党が大陸を支配して中華人民共和国を建国すると、敗北した国民党は台湾に拠点をおいて中華民国を維持し、「冷戦」の状況下で国際連合の常任理事国として代表権も維持して米華防衛条約を結んで自由主義陣営に属した。国民党の下で開発独裁の体制をとり、経済面では輸出指向型の工業化で1970年代には新興工業経済地域の一角を占めたが、デタントの風潮のもとアメリカ合衆国が中華人民共和国に接近すると1971年に国際連合の代表権を失い、1972年にニクソンの中国訪問がなされると、続いて田中角栄が訪中した日本が日中国交正常化を行って、日本と国交が断絶した。1979年にはアメリカとも国交が断絶するなか、民主化運動が活発化し、国民党の総統となった李登輝は民主化を断行して、選挙によって総統に再任された。2000年には民進党の陳水扁が総統となり、国民党と民進党による政権交替が続き民主化が確立した。

冷戦成立期におけるヨーロッパの動向

第二次世界大戦後、世界はアメリカとソ連という二つの超大国を軸に、西側の資本主義陣営と東側の社会主義陣営に分断され、相互に激しく対立した。このいわゆる冷戦構造の成立期におけるヨーロッパの動向について、以下の語句を用いて400字以内で説明しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

北大西洋条約機構 (NATO)      経済相互援助会議 (COMECON)  
ドイツ民主共和国      トルーマン=ドクトリン      マーシャル=プラン

解答例

東欧諸国の共産化とソ連強大化を背景に、1947年アメリカはギリシア・トルコに支援を行うトルーマン=ドクトリンを発表し、封じ込め政策を打ち出した。続いてアメリカ主導のヨーロッパ復興援助計画であるマーシャル=プランが発表されると、ソ連は各国共産党に対する統制を強めるコミンフォルムを結成して対抗した。1948年チェコスロヴァキア=クーデタで共産党政権が成立すると、英仏などは西欧連合を結成して対抗した。一方ドイツの西側占領地域で通貨改革が実施されるとソ連はベルリン封鎖を行った。この間に西側は軍事同盟としてNATOを結成し、ソ連も東側の経済協力組織としてCOMECONを結成するなど東西対立は深まった。封鎖は翌年に解除されたが、ドイツは西側のドイツ連邦共和国と、東側のドイツ民主共和国に分断され、1954年にパリ協定でドイツ連邦共和国のNATO参加が決定すると、1955年に東側は軍事同盟のワルシャワ条約機構を結成した。

19世紀末から20世紀前半までの朝鮮半島

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

IV 19世紀末から20世紀前半までの朝鮮半島をめぐる歴史の展開について、国際関係にも留意しつつ、以下の語句を用いて説明しなさい。

三・一運動 下関条約 大韓帝国 義兵闘争 ポーツマス条約

解答例

甲午農民戦争を機に日清両国が出兵し、日清戦争となった。日本が勝利し、下関条約で清朝の宗主権は否定されたが、三国干渉を機にロシアの影響力が強まった。李朝は大韓帝国と改称し独立維持を図ったが、日露戦争で勝利した日本はポーツマス条約でロシアを排除し、第二次日韓協約で韓国を保護国とした。これに対し義兵闘争が展開し、国王が万国平和会議に保護国化無効を訴えるハグ密使事件も起こったが、日本は第三次日韓協約で内政権も奪い、伊藤博文の暗殺を機に韓国を併合した。日本は朝鮮総督府を設置して武断政策のもと義兵闘争を弾圧する植民地支配を行い、第一次世界大戦後、民族自決を求めた三・一運動も弾圧した。その後日本は文化政治に転換したが、日中戦争を機に皇民化政策の同化政策を強化した。第二次世界大戦で日本が敗北すると、北緯38度以北はソ連に、以南はアメリカに占領され、朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国の分断国家が成立した。

中華人民共和国

次の各問について、それぞれ400字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

中華人民共和国における政治・経済の歴史的展開を、因果関係に留意しつつ、以下の語句を用いて説明しなさい。

改革・開放運動 第1次五カ年計画 「大躍進」 (第2次) 天安門事件 文化大革命

解答例

中華人民共和国は、土地改革法を定めて地主の土地を再配分し、ソ連の支援のもとで第1次五カ年計画を進めた。1950年代半ばから中ソ関係が悪化するなか、毛沢東は第2次五カ年計画を「大躍進」と称し人民公社を通じた農村の集団化や無謀な鉄鋼生産計画など急進的な計画経済政策をとったが失敗した。そのため劉少奇が国家主席となり、鄧小平とともに集団化を縮小する「調整政策」で安定回復をはかったが、毛沢東は資本主義への道を歩む実権派と批判し、大衆を動員する文化大革命で劉少奇や鄧小平を失脚させた。毛沢東の死後、社会と経済の混乱を招いた文化大革命は終結し、復権した鄧小平が「四つの現代化」を唱えて改革・開放運動を展開し、人民公社の廃止や経済特区の設置など自由主義経済への移行が進んだが、1989年の天安門事件で民主化を求める学生運動を弾圧するなど政治の自由化は認めず、共産党体制下での社会主義市場経済の路線を強化している。